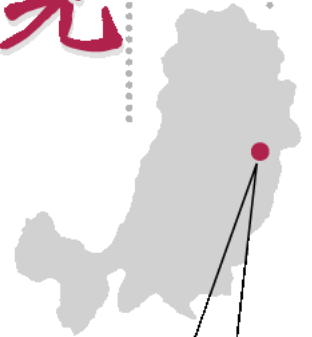




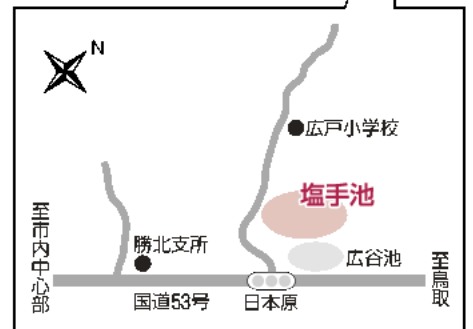
ふるさと
発見



その12 塩手池 (市場)

塩手池は江戸時代初期、津山藩主森長継^{ながつぐ}によって築造されました。当時は池の規模も小さかったのですが、何度にもわたって増築を重ね、現在では総水量145万トン、かんがい用ため池では県下最大規模です。

雄大な那岐連山に抱かれた池は満々と水をたたえ、その周りでは穏やかで美しい里山の風景が広がります。散策やサイクリングを楽しめる道も整備され、憩いの場としても親しまれています。また、毎年8月に行われる花火大会では、珍しい水中花火が水面を彩ります。



〈おもな内容〉

特集 1	3～7 … 地産地消のススメ
特集 2	8・9 … 子どもの安全は今
市政だより	10～14 … 介護／年金制度、国保
支所だより	15 … 地域のわだい
まちかど写真館	16・17 … アイスランド津山／つやまアートフェスティバル
ごんごクラブ	18～21 … 未来をひっばる津山人／いきいきなかま
けいじばん	22～25 … おしらせ／募集／もよおし
くらし	26・27 … 子どもスポット／育児Q&A
津山城百問録	28 … 御用達株の行方

表紙

2006つやまアートフェスティバル「光・水辺の球」
(2月4日、衆楽園)